



「マグロのヒミツ、事前授業」

協力

概要：三崎小学校の子どもたちが、次回の講師の授業に向け、マグロの生態に関する予想、疑問をまとめた。

小学校5年
理科



実施内容

1. **実施校** 三崎小学校
2. **目的** 次週に予定している東京大学の北川貴士准教授のマグロの授業に向けて、子どもたちの意識を高める。
3. **内容** メダカとマグロの卵の違いについて、授業内で、次回の授業に向けての質問や予想を考え、ノートにまとめる。
4. **日時** 平成28年 9月8日(水) 10:50~11:50
5. **場所** 三崎小学校 理科実験室
6. **参加者** 三崎小学校5-1児童 26名 研究所職員
7. **指導者** 三崎小学校 佐藤 美沙樹 教諭
8. **持ち物** 教科書、筆記用具、色鉛筆

当日の様子

- 「次の授業の時、マグロの研究をしている東大の北川先生に授業をしてもらいます」という教員のことばに子どもたちは驚きの声をあげていた。
- 『メダカの卵』と『マグロの卵』とくらべて何か違うところがあるのでしょうか?という問いに、子どもたちは時々悩みながらも、思い思いに予想を、ノートに書いていた。「卵はメダカと比べて大きい」「ふ化する時間はメダカより時間がかかる」「メダカと同じように卵を水草に産み付ける」などと予想していた。
- 子どもたちが、必死に予想し、黒板に書いて発表している姿が印象的だった。